

二十四日午後友愛會松岡駒吉、賀賀川由是、及四野業、職二側幹部員數を列座中致謝ヲ  
 凝ラシ一面友誼團體新進會創工工組各々印刷工組合、機械工組合、意留ヲ訊キ先上本  
 件ノ調停方ヲ求遺士曰野國明ノ人格ヲ信ノ件ニ条件ニテ一任スルコトニ協定セリ  
 廿日午在六時友愛會主催ノ下ニ労働者大會ヲ天正寺公會堂ニ開ク入場料ヲ労働  
 組合員ハ十末其他ハ三十末ヲ徴シタルガ會スル者開會時致八百名ナリシニ後  
 更ニシテ一千八百名(藤永田職工五百名、注友業及仲所職工約四百名、其他ノ労働  
 者約五百名)ニ及ヒ滿意ニテ閉テラ用録シ場外高ニ罷降ヲ誘ヒリ  
 座長ニ小西武代花ヲ推シ決議及宣言ヲ朗讀使是レ盡テハ決議會ニ移リ木村健  
 吉外四名ノ演説アリ開會前テ労働歌及革命歌ヲ高唱シ秘ニ騷然スリト云  
 理委員ノ齊聲ニ依リ「今晚ハ靜肅ニシテ勞動ヲ爲スベラス前途ハ前途ノ  
 曙光ヲ見ルニ至レト傳ノ之レハ動搖ヲ制シ且テ賀賀川豊多モ亦本件調停  
 ノ經過ヲ述アル所アリテ漸次平穩ニ歸シ十時迄並ニ事閉會シ告ケテ去リ

決議

- 一 我等ハ飽造團體交渉權ヲ要求ス
- 二 我等ハ目的貫徹ノ爲メ飽造秩序ヲ重シスベシ
- 三 我等ハ資本家及官吏等ノ猛省スベキヲ要求ス

大正十年六月廿日  
 全大坂労働者大會  
 (六月廿日)

職工側ハ日野國明ニ調停方一任シタルヲ以テ全ハ二十日未工場至劇ト折衝シ職  
 工側ハ全時ニ凡テノ策謀ヲ中止シ其ノ結果ヲ待タツテアリ廿一日格別ノ行動  
 ナシ  
 加僕本部、南本部共約五百名參集去勤薄ニ捺印セル天平表ニ比シ其ノ數シ  
 減シタルヲ幹部員等々調停進捗中ニ付其成行ヲ俟ツノ外ナケル本日ハ  
 各自帰宅シ家族ヲ慰安スルノ邊トタルニ依リ兩方少數幹部員シ  
 残シ他ハ帰宅シ頗ル閑散ノ状ニ至リ